

青少年の起業精神 世界発信

◎京田辺

世界の青少年が起業家精神や創造性を競う国際大会「グローバル・エンタープライズ・チャレンジ2010」の日本代表に、同志社国際高(京田辺市)卒業生チームが選ばれた。6月の大会優勝を目指し「応援と期待に応えられるよう頑張りたい」と闘志を燃やしている。

同志社国際高の卒業生チーム

大会は英行政機関が主催。ムが24時間で解決策を練り、米航空宇宙局の科学技術者ら資料作成と口答発表に挑む。が出す課題に対し、参加チーム3月末の国内予選では、10



25日に行われた国際大会で、宇宙開発技術を使った経済活性化プランを話し合う同志社国際高卒業生と葺合高生たち(京都市下京区)

日本代表に 6月国際大会 優勝目指し闘志

チームが「持続的で根本問題の解決につながる障害者雇用の促進策立案に取り組んだ。同志社国際高チームは、求職者の技能や希望を把握し、就業先紹介や起業支援を行う非営利組織の設立を提案。成功した起業家が新たに雇用を創出、組織を支援するプランで最優秀賞を得た。

審査したNPO法人アントレプレナーシップ開発センターの原田紀久子理事長は「長期運用できる起業モデルとビジネスプラン、発表のうまさの3要素がまとまっていた」と話す。

25日には練習試合を兼ね、予選努力賞だった葺合高(兵庫県)生徒との合同チームでカナダ国際大会にネット参加した。今春、同志社国際高を卒業し同志社大に進学したルンドクヴィスト・ニーナさん(18)は「多くの人と出会って自分の世界を広げたい」と話し、辻愛麻さん(18)は「国際大会で優勝し、次回開催国になれるよう頑張る」と意気込む。国際大会は6月14、15日にインドネシアで開かれる。

(石川健一郎)